

## 05 健全化判断比率・資金不足比率

健全化基準の数値を下回り、健全な財政運営

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、地方公共団体は毎年度、実質的な赤字や将来負担などにかかる指標（健全化判断比率）と、公営企業の資金不足率（資金不足比率）を監査委員の審査に付したうえで、議会に報告し公表することとされています。

この指標は、一般会計だけでなく、公営企業会計等も併せて町全体としての財政状況を確認するものです。高千穂町は、いずれの比率についても国の定める基準を下回っており、健全な財政運営と認められます。

### 健全化判断比率

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
令和6年度	—	—	6.6%	—
（前年度）	（—）	（—）	（6.6%）	（—）
早期健全化基準	14.92%	19.92%	25.0%	350.0%
財政再生基準	20.0%	30.0%	35.0%	

### 資金不足比率









（単位：万円）

会計名	資金不足額	資金余剰額	資金不足比率
水道事業会計	0	3億9462	—
下水道事業	0	1億1258	—
簡易水道事業	0	101	—
小水力発電事業	0	183	—

## 06 町民一人あたりでみる歳出決算額（一般会計）

町民一人あたり97万1751円で前年度より約8万2293円増額（令和7年3月31日現在の人口1万658人で算出）

カッコ書きは前年度からの増減額

農林水産業費・商工費	教育費	土木費	民生費
産業振興や商工業の育成、観光振興のために 16万4776円 (6739円)	教育の充実や、文化、スポーツ向上のために 5万4835円 (5402円)	道路や橋などの整備や維持管理のために 9万5303円 (6533円)	福祉の向上、充実のために 23万7211円 (5854円)
			
公債費	衛生費	総務費・議会費	災害復旧費・消防費
社会資本整備等のために借り入れたお金の返済 6万6087円 (△2303円)	ゴミ・し尿処理や、町民の健康を守るために 8万5142円 (2万151円)	議会、役場運営等のために 12万8262円 (5191円)	災害の復旧や消防の運営のために 14万135円 (3万4726円)
			

## 07 町（一般会計）の預金と借入について

一般会計では財源調整や将来の公共施設整備等に備えるため基金を管理しています。また、各種事業に充てるため起債（国や金融機関からの借入）も行っています。

令和6年度末の基金残高は、財政調整基金10億1995万円となり、その他の基金を合わせて合計29億4541万円となっています。起債残高は59億8831万円となりました。

残高はそれぞれ適正とされる水準を保っていますが、引き続き同水準を保ちながら有効な利活用を図っていきます。

### 一人あたりの預金（基金）と借金（起債）の残高

（令和6年度末時点）

預金（基金）	借金（起債）
27万6356円	56万1860円



## 令和6年度決算報告 高千穂町の財政事情

令和6年度一般会計決算は、歳入が前年度比4億9,925万円（4.9%）の増、歳出が前年度比6億6,894万円（6.9%）の増となりました。災害復旧事業を中心に7年度への繰り越しとなった事業もあります。ここでは町民の皆様から納めていただいた税金や、国・県から交付された財源がどのように活用されたかをご報告します。

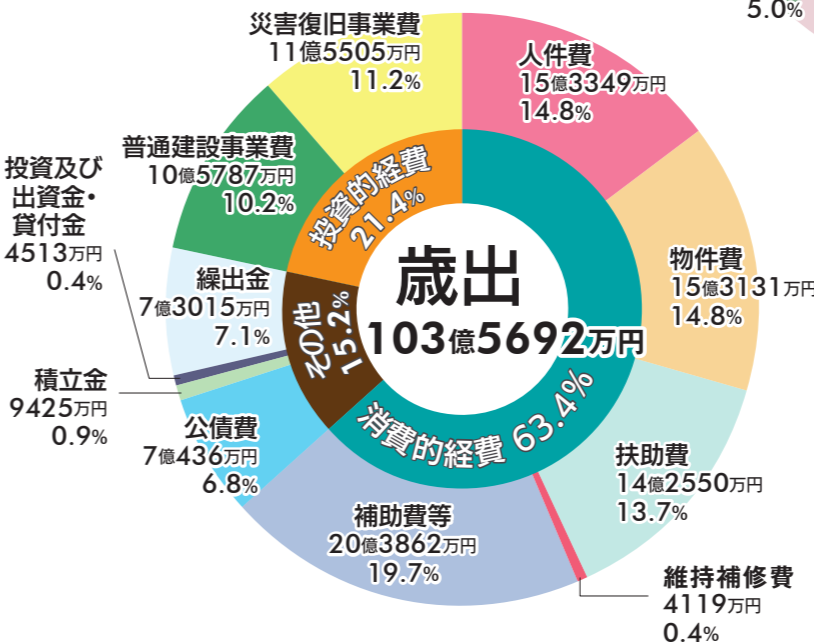
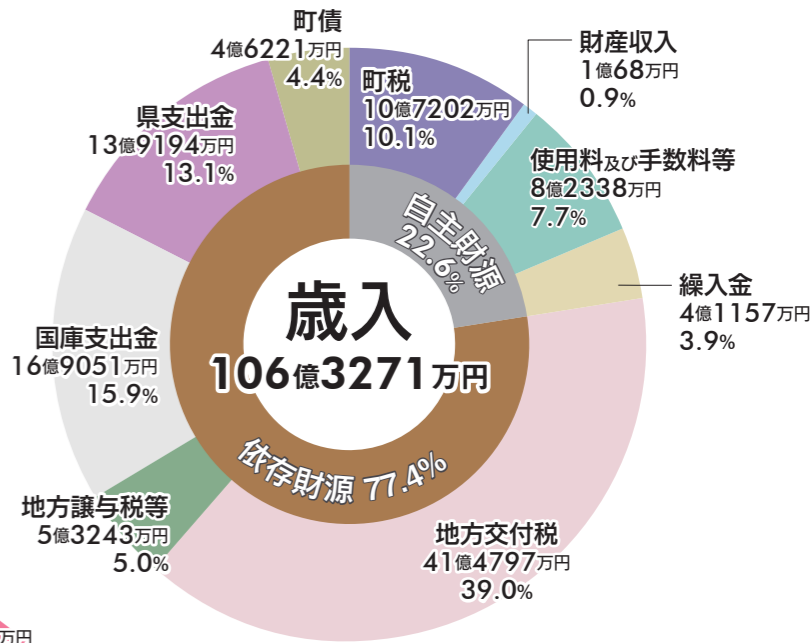
※単位未満を端数処理しています。

## 01 一般会計 歳入

### 災害復旧事業に対応する国・県支出金の増加

自主財源が24億765万円、依存財源が82億2,506万円となっています。

自主財源である町税は、定額減税の影響により全体で2,805万円の減額となりました。依存財源は、定額減税補てん分の交付金や災害復旧に対応するための国・県支出金が増加しています。また、財源調整のため財政調整基金から2億円の繰入を行いました。



## 03 特別会計

（単位：万円）

会計名	歳入決算額	歳出決算額	収支
国民健康保険事業	18億1032	18億920	112
簡易水道事業	1億239	1億138	101
西臼杵介護認定審査会事業	1131	1067	64
介護保険事業	16億5953	16億1065	4888
後期高齢者医療保険事業	2億1527	2億1408	119
小水力発電事業	1021	838	183

※令和6年度から小水力発電の運用を開始しました。  
また、国保病院事業は西臼杵広域行政事務組合の事務となりました。

## 02 一般会計 歳出

大型の災害復旧事業や観光駐車場整備により増加

物価高騰の影響もあり、各分野で歳出増となりました。

大型の災害復旧事業が本格化し、11億5,505万円、普通建設事業費も町道改良や観光駐車場整備などにより10億5,787万円となり、投資的経費は前年度比5億2,300万円（30.9%）の増となりました。

西臼杵3町の病院事業は広域行政事務組合の事務となりましたが、各町、負担金により財政的にも支えています。

## 04 公営企業会計

（単位：万円）

会計名	歳入決算額	歳出決算額	収支
上水道事業			
収益的収支	1億7254	1億3486	3768
資本的収支	2085	5604	△3519
下水道事業			
収益的収支	2億4497	2億1658	2839
資本的収支	3490	9297	△5807